



ばんか情報館



2021 令和3年 2-3月号

偶数月1日発行 [第106号]

本紙は1月11日現在の情報で作成しております。新型コロナウイルスの感染拡大防止の国等の方針を受け、掲載されている催し物は中止または延期されることがあります。最新情報に関しましては随時厚木市文化会館公式ホームページにてお知らせいたします。また各公演にご来場されるお客様は、事前に厚木市文化会館ホームページの《感染症拡大防止のために お知らせとお願い》をご覧ください。

東西落語界から、各界を代表する実力派が集結。江戸、上方、それぞれの落語の違いを楽しむのはもちろん、四人それぞれの個性豊かな芸を一挙に楽しめる、お得な特選四人会。

2/28日

14:00 小ホール

3,500円(全席指定)

※未就学児の入場はできません。
※感染予防対策のため、前後左右1席ずつ座席を空けて4列目より販売させていただきます。

チケット発売中

チケット取扱い 文 窓

車いす席 文 窓

AM 割引 シルバー



あつぎ寄席
特選! 落語会
東西編
東西落語界より四人の実力派が集結。趣異なる四人の個性の競演。

あつぎ寄席
特選会
若の玉手箱
新作・古典、浪曲と彩り豊かな特選会。それぞれの名手が揃う芸の玉手箱。

新作・古典落語の名手に、気鋭の浪曲師と個性豊かな顔付けの今回の特選会。彩り豊かな芸の競演に、演芸の多様さ、奥深さを愉しむ。どうぞお楽しみに!

3/13土

14:00 小ホール

3,500円(全席指定)

※未就学児の入場はできません。
※感染予防対策のため、前後左右1席ずつ座席を空けて4列目より販売させていただきます。

チケット発売中

チケット取扱い 文 窓

車いす席 文 窓

AM 割引 シルバー



チケットの購入方法

ウェブ予約

https://p-ticket.jp/atsugi-bunka
※ウェブ予約サービスをご利用いただくには利用登録が必要です。(登録無料)
※文(委託チケット)及び一部自主・共催公演はウェブ予約をご利用いただけません。

電話予約

厚木市文化会館チケット予約センター ☎046-224-9999
(10:00~17:00 ※休館日を除く)

チケット窓口

会館事務室(2階)にて直接ご購入いただけます。
(9:00~17:00 ※休館日を除く)

※厚木市文化会館でチケットを購入される方は4面に記載されている「文化会館からのご案内」を必ずお読みください。

プレイガイド

ローソンチケット l-tike.com

チケットぴあ ☎0570-02-9999(要Pコード)
t.pia.jp

イープラス eplus.jp(ネット予約のみ)

※チケット購入後のキャンセル・変更はできません。
※掲載されているチケット料金はすべて税込み価格です。

各種サービス

AM [アート・メイツ会員特典対象]
(会館友の会/年会費2,000円)

先行 会員先行 発売対象。AM 割引 会員割引 販売対象。

シルバー [シルバーチケット 助成対象]
(厚木市保養施設等利用助成券)

厚木市在住65歳以上対象。全館自主共催事業の前売券購入時に1,000円助成。(年3回まで。3,000円以上の前売券に限る)
※一部公演にて当日券も助成対象。利用対象については直接お問い合わせいただくか会館ホームページをご覧ください。

[50%入場者制限公演]

感染予防対策を鑑み前後左右1席ずつ座席を空かせて販売する公演です。
なお、公演により座席レイアウトが異なります。

チケットのご購入は電話予約・ウェブ予約がおすすめです。

CRAZY KEN BAND *NOW 2021

2/13(土)

17:00 大ホール

前売 7,600円 (全席指定)
当日 8,100円

【お問い合わせ】 ホットスタッフ・プロモーション
☎03-5720-9999 (平日12:00~15:00)

チケット発売中

チケット取扱い

※年齢制限なし。但し4歳未満でもご入場される全てのお子様のチケット必要。
※会館でのチケット取扱なし



●公演についてのお願い

「新型コロナウイルス感染症対策」を十分に講じ、政府のガイドラインに基づき、ソーシャルディスタンスを確保した上で実施いたします。ご来場の際には会場内に掲示された神奈川県「LINEコロナお知らせシステム」へのご登録をお願いいたします。ご来場のお客様のご理解とご協力をいただきますよう何卒よろしくお願いいたします。詳細はCRAZY KEN BAND公式ホームページにてご確認ください。
<https://www.crazykenband.com>



わたしだけのスタインウェイピアノ@大ホール

～大ホールでスタインウェイピアノを弾いてみよう♪～

多くのピアニストから愛されるスタインウェイピアノを、大ホールで思いっきり弾いてみませんか？

2/6(土)・7(日)・8(月)

大ホール 1枠(1時間45分)

厚木市民/アート・メイツ会員 ▶ 1,800円
それ以外の方 ▶ 2,000円

① 9:15~11:00 ② 11:15~13:00
③ 13:15~15:00 ④ 15:15~17:00
(4枠×3日間)

1/29(金)受付開始

申込み **文**

割引

※電話予約のみ。先着順の受付となります。
※当日支払。厚木市民及びアート・メイツ会員の方は支払い時にその旨が証明できるものをご提示ください。



1枠1時間45分で1組2名までご利用いただけます。

【注意事項】

- 1枠(1時間45分)2人まで利用できます(付き添者含む)。
- 連続、重複利用はできません。
- 利用時間には準備、片付け等を含みます。終了5分前にブザーが鳴りますので、次の利用者のために練習を終了してください。
- 今回はピアノ練習でのご利用に限ります。
- 18歳未満の方が利用する場合は保護者の付き添いが必要です。
- 撮影会など演奏以外を目的とした利用、ピアノ教室やコンサートなどの営利目的や発表会など公開目的での利用はできません。
- 舞台上のみのご利用となり、客席、ロビーにはお入りいただけません。
- 当日、発熱、咳、咽頭痛などの症状があり、体調が優れない方のご利用はご遠慮ください。
- 会場に設置してある消毒液等で、ご利用前とご利用後に手指の消毒を必ず行ってください。
- 参加者は必ずマスクを着用してください。
- 参加者同士で適切な距離を保ってください。
- 利用中に換気のためドアを開放する場合があります。

厚木市文化会館よりお知らせ

「あつぎシアターエール～落語・柳家小太郎編～」
市内介護施設等へDVDを寄贈しました



DVDを手渡す平井理事長(左)と小林市長

※本番組の動画は3月末まで期間限定で厚木市文化会館 YouTubeチャンネルにてご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症の影響によりコンサートなどの開催が困難となっている状況の中、厚木にゆかりのある文化人が出演する映像を発信し、文化芸術の鑑賞機会を提供することを目的に制作している「あつぎシアターエール」。市内介護施設等の利用者や入居者の皆様に落語を鑑賞する事で、文化芸術に触れ、落語を楽しんで初笑いしていただきたいという目的で、令和3年1月に「あゆチャンネル」(厚木伊勢原ケーブルネットワーク)で放送の本番組第2弾(柳家小太郎編)を収めたDVDを、昨年12月に当財団の平井広理事長より小林常良市長へ寄贈いたしました。

サーマルカメラを
導入しています



カメラの前を通るだけで体温のチェックを行うことができるサーマルカメラの運用を始めています。現在大・小ホールにて催事を主催される方には無料で貸し出しを行っております(事前予約制。セッティングは会館職員が行います)。なお、貸出がない日には、ご来館者自身の体温チェックができるよう総合案内にてデモ運用を行っております。非接触で体温計測が可能で、リアルタイムで複数人の体温を一度に計測することができるサーマルカメラを入場者の体温チェックにぜひご活用ください。

寄席豆知識

もっと寄席を楽しもう!

寄席というと敷居が高く行きづらいと感じる方もいるかもしれませんが、そんなことはありません。今回は寄席の豆知識をご紹介します。あなたもすぐに寄席の魅力にはまってしまいませんか?!

時は、徳川の世となつてほぼ百年、五代将軍綱吉全盛の時代(17世紀末)。その頃、「京都」、「難波(今の大阪)」、「江戸」の三大都市に、ほとんど時を同じくして「落語家の祖」と言われる人が現れました。

京都では露の五郎兵衛、難波では米沢彦八が、神社の境内など人の集まる所で、通りすがりの人の足を止めて、落とし噺を聞かせた……こういったやり方を「辻噺」と呼びます。

一方、江戸では、「辻噺」もなかった訳ではないのですが、どちらかといえば、お金持ちや大名などの家に呼ばれて行って、お座敷で噺をする「座敷噺」のほうが主流で、最も著名なのが鹿野武左衛門という人でした。

こうして京阪=上方は辻噺、江戸は座敷噺という流れができて、それぞれに特徴のある芸風が作られ伝えられてきました。

演者や噺の内容にもよりますが、上方噺を演じるとき、京阪では「見台」という小さな机を前に置き、張扇と小拍子で見台を叩いて口上を述べます。通りすがりの人を呼び込む辻噺の名残が見られるように思われます。また、今ではすっかりお馴染みとなった、落語家が高座に登場する際のBGMである「出囃子」、あれは、もともと上方独特で、江戸

落語の東西



の寄席にはなかったのだそうです。もちろん当時から芝居噺や音曲噺など、三味線を伴奏に用いる噺は有って、お囃子のお姉さんもいましたし、音曲師もいましたが、「出囃子」というものはありませんでした。

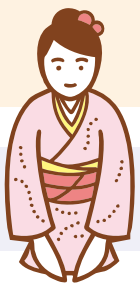
大正期の関東大震災の少し前くらい、東西交流が盛んになり、大阪風の出囃子が東京の方に持ち込まれました。これが好評だったことから東京の方でも出囃子が定着することになったのです。また、上方では「ハメモノ」と言って、演じる噺によっては三味線や色々な鳴り物が入ります。とにかく賑やかにやるのが上方風。噺家一人一人の高座の出にも賑やかなお囃子をつけて登場する……それが上方のやり方でした。

上方の噺を江戸・東京に移し替える、東京の噺を上方ふうにして直す、というような「噺の東西交流」というのも早くからあったようです。噺の内容が江戸・上方に共通するものが多く存在しますが、噺の内容が大まか同じであっても「時そば」(江戸)に対して「時うどん」(上方)のように名称が異なる演目があります。同じ「落語」でありながら、話す言葉一つとっても大きく違う、江戸落語と上方落語。その芸の違い、あじわいの違いはさながら「そば」と「うどん」の食べ比べのようです。

噺の種類

各落語家の演出方法や、東西の違いなどにより変化は見られますが、落語の噺は内容によりいくつか分類されます。その代表的なものをご紹介します。

- 滑稽噺** 落語の噺の中で、最もポピュラーで数としても圧倒的多数を占める。基本的には、笑いを基調とし、おもしろおかしく聞かせることが中心となる。
- 人情噺** 登場人物の心の動きを描き出すことを主目的とし、聴き手の涙を誘う手法が取り入れられている。細かい描写が必要となるため、長編物が多く、演じるにはしっかりと力量を要する。
- 芝居噺** 途中で、ストーリーの展開が芝居がかりになる噺。この芝居とは歌舞伎を意味し、演じ手が歌舞伎役者になりきって、噺を進めていく。現在では歌舞伎の一般への浸透が浅いため、演じられることが少なくなっている。
- 怪談噺** 落語の演目のなかで幽霊や化け物、死神などといった怪異を扱う話の総称。文化・文政のころにはじまり、幕末から明治期に隆盛した。一般には夏に演じられることが多い。
- 地噺** 落語の構成において、登場人物の会話に対して、場面の情景や日時の転換などの説明を地といい、その地だけで語られる噺。いわばテレビのレポーター落語版。
- 仕込み噺** 前半において、後半盛り上げるまたはサゲのつく仕掛けをしておく噺。仕込みに当たる部分は、笑いが少なく聴き手を飽きさせやすいが、それを如何に感じさせないようにするかは、演じ手の話術にかかっている。
- 枕噺** 「枕」とは落語の本題に入る前の導入部分をさし、そこで演じられる噺。枕が本題の前に設けられる目的は、第一はその時々の客の反応や、何を求めているかを探ること。第二に、噺のサゲがわかりにくい場合に、その理解を助けるための予備知識としてはなすなどである。



落語の小道具

落語の演出で使われる小道具は、非常に限られており、基本的には扇子と手拭いだけです。この二つの小道具を様々なものに見立てて、噺を進めていきます。

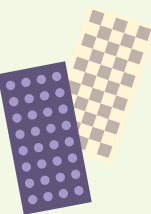
- 刀、槍、釣竿** 落語家が目線をそれぞれの長さに見合うように定めて、その質感を想像させます。
- きせる 筆、箸、包丁** そのままのスタイルで、くわえたり、何かを書いたりするしぐさでその物を表現します。
- お銚子** 少し広げて傾け、徳利に注いでいるように見せます。
- 提灯** 全部広げて、端を持ってぶらさげます。足元を照らしているようにするため、少し目線を下げます。
- 舟の櫓** 扇子を両手でにぎり、櫓をこいでいるようなしぐさをします。人によっては要の部分のみをひねって、櫓のきしむ音を立てることもあります。
- 煙草入れ** 中に刻み煙草が入っているように見立てます。折った手拭いの中に扇子の先を少し入れて、数回こねるしぐさ、これがきせるの雁首(先の金属の部分)に刻み煙草を詰めたことを表現します。
- 帳面、本** 手のひらに乗せ、片手でページをめくるしぐさをします。
- 焼芋** まるめて、それをほおぼるようにすると、焼芋を食べているように見えます。
- 財布** 折った手拭いの中に手を入れて小銭を出すしぐさ、あるいは札を引き出すしぐさをします。

扇子



他には、擬音効果として、片手は戸を叩くしぐさをし、もう一方で扇子の要の部分を高座に打ちつけて、いかに戸を叩いているようにみせるなど演出方法はさまざまです。また楽屋の符丁では扇子のことを「かぜ」と言います。(符丁…合言葉)

手拭い



手拭いの模様は、各落語家でまちまちで、自分の名前や紋を染めていたりします。楽屋の符丁では「まんだら」と言います。

平成30年2月、31年3月公演パンフレットより 協力：(株)影向舎

発売中

あつぎ寄席公演情報

2月28日(日) 14:00開演 ▶ あつぎ寄席 特選! よつたり落語会 東西編
3月13日(土) 14:00開演 ▶ あつぎ寄席 特選会~芸の玉手箱~

※公演の詳細情報は1面をご覧ください

おうちで落語鑑賞のひとときを ~心に元気をプロジェクト~



厚木市文化会館のステージから厚木にゆかりのあるアーティストをお招きして、楽しいトークとパフォーマンスを披露する“あゆチャンネル”(厚木伊勢原ケーブルネットワーク)の特別番組「あつぎシアターエール」。

第2弾となる今回は、3月21日に真打に昇進が決まった厚木市出身の落語家、柳家小太郎さんの一席をお届けします。柳家小太郎さんは柳家さん喬師匠に2005年に入門。プロレスと妖怪が好きで、モットーは「明るく・楽しく・激しい落語」。プロレスのような激しい展開の落とし噺や、妖怪好きを活かしての怪談噺が得意だそうです。あゆチャンネルにて1月に放送されたものを厚木市文化会館 YouTubeチャンネルにて3月末まで期間限定で配信しております。ぜひご覧ください。



あつぎシアターエール ~落語・柳家小太郎編~

出演 柳家小太郎(落語家)
ナビゲーター 神崎 順子

▶ 厚木市文化会館 YouTubeチャンネル
▶ 配信期間：2021年3月末まで

